

科目名称: 幼児教育者論					
担当者名: 斎藤修啓					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	1年前期	講義	必修	2	子ども福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		24103315
授業概要: 幼稚園や認定こども園で教師達が実際に体験した事例や、現在の園での生活等について、具体的に紹介したり、親と教師との立場の違い、保育園や他の学校との相違等について考えながら、幼稚園の先生の役割について理解する。					
到達目標: 教職の意義について、歴史的・制度的背景をふまえて説明できる。幼稚園教諭及び保育士の職務内容とその責任を今日的課題と関連づけて説明できる。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 授業内容と授業計画の説明			保育所保育指針や幼稚園教育要領で保育者の役割が書かれている部分を予習(30)		
第2回 保育者への扉をあける			教科書序章(13-22頁)の予習(30)		
第3回 教育の目的と教員の存在意義、教員に求められる役割			教科書第1章(23-41頁)の予習(30)		
第4回 保育者になるための学び(1) 教養教育を学ぶ			教科書第2章前半(42-51頁)の予習(30)		
第5回 保育者になるための学び(2) 養成課程の概要			教科書第2章後半(52-61頁)の予習(30)		
第6回 保育者に求められる資質			教科書第3章(62-77頁)の予習(30)		
第7回 職場で学び続ける保育者			教科書第4章(78-93頁)の予習(30)		
第8回 校内連携による組織的な子育て支援(1) 子育て環境の変化			教科書第5章前半(94-100頁)の予習(30)		
第9回 校内連携による組織的な子育て支援(2) 子育て支援の政策動向			教科書第5章後半(101-113頁)の予習(30)		
第10回 現代社会の変化と保育者の役割、外部の専門家との協働			教科書第6章(114-127頁)の予習(30)		
第11回 保育者の職務の全体像と服務上の義務			教科書第7章(128-146頁)の予習(30)		
第12回 日本の保育者のあゆみ(1) 近代保育の幕開け			教科書第8章前半(147-155頁)の予習(30)		
第13回 日本の保育者のあゆみ(2) 昭和期以降			教科書第8章後半(155-162頁)の予習(30)		
第14回 保育者の研修とキャリアプラン			教科書第9章(163-174頁)の予習(30)		
第15回 資料にみる保育者の姿			教科書第10章(175-198頁)の予習(30)		
履修に必要な予備知識や技能: 教科書等を事前に読み、各自なりの理想の保育者像を考えておく。					
課題に対してのフィードバック: 授業中に示された課題などの提出物は、点検されたあと、次回以降の授業で返却する。復習・理解度のチェックに活用してください。					
評価方法・基準: 定期試験 60%、課題や提出物 20%、授業への参加度 20%。					
教科書: 「新時代の保育双書 今に生きる保育者論[第4版]」秋田喜代美(みらい)					
参考書: 「幼稚園教育要領解説」文部科学省(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省(フレーベル館)、「保育所保育指針解説」厚生労働省(フレーベル館)					
備考:					
実務経験の内容・期間: なし					